

成果指標				
成果指標	事業費割合(直接事業費÷営業収益×100)			
指標設定の考え方	事業費割合により、健全な運営状況の把握が可能のため。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	8	8	8	0
実績	12.7	12.5	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	機器類の更新には莫大な費用が掛かるため施設台帳の整備を行うとともに、適切な更新計画を立てて実施して行かなければならない。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	上水道水源施設の維持管理は、水源の種類・規模や施設の経過年数により異なり、機器の更新等に莫大な経費が必要であるため、耐震化を含めた更新計画を立て適切に実施する必要がある。また、予算措置においても、修繕引当金等の計上を検討し、経費の平準化を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題